

みずほCustomer Desk Report 2019/06/21 号 (As of 2019/06/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.80
TKY 9:00AM	108.11	1.1236	121.47	GBP/USD	1.2661
SYD-NY High	108.14	1.1317	121.91	AUD/USD	0.6884
SYD-NY Low	107.21	1.1227	121.10		0.6936
NY 5:00 PM	107.31	1.1292	121.13		0.6880
					0.6922
NY DOW	26,753.17	249.17	日本2年債	-0.2300	▲2.00bp
NASDAQ	8,051.34	64.02	日本10年債	-0.1700	▲3.00bp
S&P	2,954.18	27.72	米国2年債	1.7734	3.42bp
日経平均	21,462.86	128.99	米国5年債	1.7753	1.14bp
TOPIX	1,559.90	4.63	米国10年債	2.0224	▲0.53bp
シカゴ日経先物	21,460	150	独10年債	-0.3190	▲2.90bp
ロンドンFT	7,424.44	20.90	英10年債	0.8080	▲5.60bp
DAX	12,355.39	46.86	豪10年債	1.2900	▲5.50bp
ハンセン指数	28,550.43	348.29	USDJPY 1M Vol	6.35	0.40%
上海総合	2,987.12	69.32	USDJPY 3M Vol	6.59	0.24%
NY金	1,396.90	48.10	USDJPY 6M Vol	6.85	0.20%
WTI	57.07	3.10	USDJPY 1M 25RR	-1.29	Yen Call Over
CRB指数	178.63	3.19	EURJPY 3M Vol	6.81	0.24%
ドルインデックス	96.63	▲0.48	EURJPY 6M Vol	7.15	0.11%

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
6月20日	11:35	豪 ロウ豪中銀総裁 講演		「利下げの可能性は依然テーブル上にある」
	11:45	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%
	15:30	日 黒田日銀総裁 記者会見		「イールドカーブのフラット化は注視、必要あれば適切に対応」
	17:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	5月 -0.3%/2.2%	-0.4%/2.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	216k
				220k
6月21日	20:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	-	0.75%

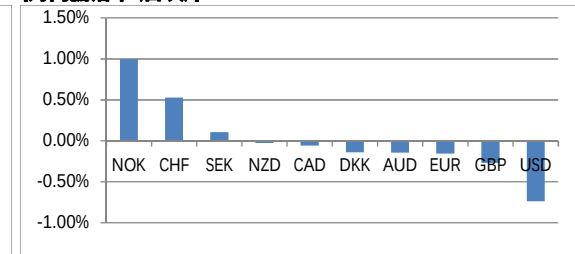
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
6月21日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI (前年比)	5月 0.7%/0.7%/0.5%	0.9%/0.9%/0.6%
	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	6月 44.6/55.2/52.5	44.3/55.4/52.6
	22:45	米 マークイット製造業/サービス業/総合PMI・速報	6月 50.5/51.0/-	50.5/50.9/50.9
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 5.30m	5.19m
6月22日	01:00	米 プレイナードFRB理事 講演	-	-
	01:00	米 ノボトニー・オーストリア中銀総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.90-107.80	1.1250-1.1350	120.80-121.70

[マーケットインプレッション]

昨日のドル円は、108円を割り込み大幅下落となった。20日早朝のFOMCでFRBのハト派姿勢が示され、米利下げ観測が高まる中、米10年債利回りが約2年半ぶりに2%割れをするなどドル売りが強まった。また、イランが米国のドローンを撃墜し、トランプ米大統領が「(米国がイランを攻撃するかどうかについて) 今にわかる」と発言し報復の可能性を示したことから地政学リスクが高まり円買いが加速。一時107.21円まで下落する場面もあった。本日のドル円は107円の節目を意識する展開が予想される。米株市場はFRBのハト派姿勢を受け高値を推移している中、米金利の低下やイランと米国の関係悪化など下落要因も対等。週末を控え、積極的なボラティリティはしにくいものと思われるが、引き続き上値の重い展開は継続しそう。

東京	東京時間のドル円は108.11レベルでオープン。前日のFOMCにおいて「経済の持続的成長に向けて適切に対応する」と声明文が変更される等、FRBのハト派化が意識される中、オープン直後から米金利が急落。米10年債利回りは2016年11月以来の2%割れの水準まで低下し、これに伴いドル円も下落した。108円をあっさりと割れると節目とされていた107.80も割れ107.50台まで下落。その後若干買い戻されたが、日銀の金融政策決定会合において政策の現状維持が決定されると再びドル売りが強まる展開となった。その後は107円台での方向感に乏しい展開が続いたが、引けにかけて再びドル売りが強まり一時107.47と1月3日以来の安値まで下落。若干値を戻し107.55レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.55レベルでオープン。FOMCの結果を受けてアジア時間も売られたドル円だったが、ロンドン時間は買い戻される展開に。一時107.88まで戻し107.69レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.2708レベルでオープン。ロンドンはアジア時間に引き続き堅調な推移で英5月小売売上が予想通り軟調だったものの1.2727まで買われる。しかし正午に英中銀が政策金利を据え置き、成長見通しを引き下げると1.2680まで反落し1.2689レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	NY市場のドル円は107.69レベルでオープン。朝方発表の米新規失業保険申請件数は予想以上に改善したものの、米6月フィデリティ連銀景況指数が予想を大幅に下回ったことから、107.54まで弱含む。しかし、売りは長続きせず、107.70近辺まで戻す。その後、米金利低下を眺めながら下落し、トランプ米大統領が「(米国がイランを攻撃するかどうかについて) 今にわかる」と発言したことが伝わり、地政学リスクの高まりに円買いが加速し、107.23まで下落する。107.40近辺まで戻す上値は重く、終盤は107.21まで安値を更新し107.31レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、前日のFOMCを背景に米金利が低下する中、じり高推移が続く1.1316まで上昇。その後、小幅反落し、1.1310レベルでNYオープン。朝方はフィデリティ連銀景況指数の発表後に高値1.1317をつけるが、海外時間から続いていたドル売りが一巡し、その後は水準を切り下げる。ユーロ円の下落にも連れ安となり、一時1.1271まで下落するが、その後は1.1290近辺で小動きとなり1.1292レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 菊池・玉井